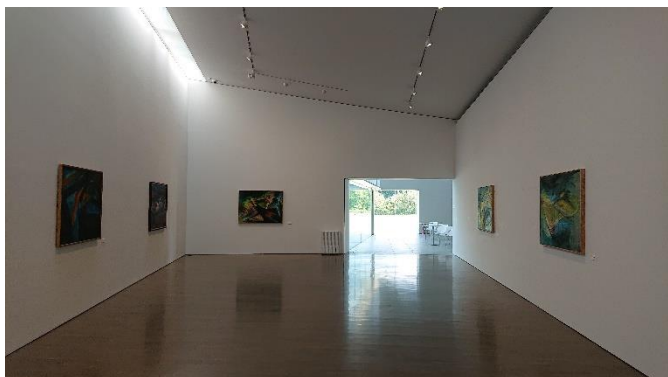


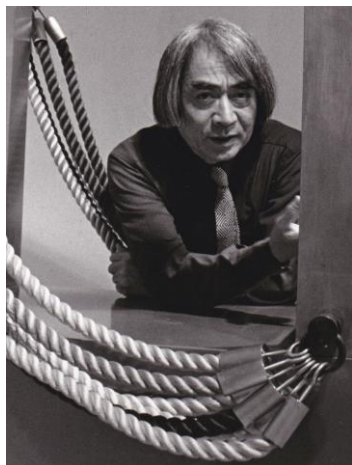
開館 20 周年記念特別展
『飯田善國 ウィーンの裸婦シリーズ』 第Ⅱ期
2023 年 5 月～2024 年 5 月予定(途中一部展示入れ替え有)



『無題 (宇宙的裸婦)』 1959 年

飯田 善國 (いいた よしくに)

ウィーンの裸婦シリーズ



1923 (大正 12) 年、栃木県足利市生まれ。慶應義塾大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎(詩人・英文学者)に師事。卒業後の 1948 (昭和 23) 年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。大学卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956 (昭和 31) 年、小説家 野上彌生子との縁で

大学で油彩画を学び、1956 年ローマに留学した飯田は、次第に彫刻に惹かれていきました。その後 居をウィーンに移すと、油彩・版画・彫刻と様々なジャンルの作品を制作し、1959 年 33 歳の時に油彩画の大作(宇宙的裸婦)シリーズを一気に描きました。

女性たちとの出会いと別れ、彫刻への情熱、様々な感情が渦巻く様子は作品にも表れ、そこには人間の肉体という存在をも超えた飯田の世界と宇宙空間が広がっています。

飯田は日本へ帰国する際、作品を持ち帰りませんでした。のちに少しずつ集められ、この度 開館 20 周年を記念し、一堂に会することとなりました。 2023 年 5 月

ローマに留学し ファッツィーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り 1959(昭和 34)年に抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンや東ベルリンを拠点に活躍。1967 (昭和 42) 年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で国内外に広く知られる他、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997(平成 9)年 7 月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。『ピカソ』(岩波書店 2000 年[1983 年の再刊]) 等、著作も多い。

2006 (平成 18) 年逝去。[享年 82 歳]

TRIAD IIDA-KAN

2002(平成 14)年、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの敷地内に飯田作品を集めた IIDA-KAN をオープン。

2018(平成 30)年より運営組織を公益財団法人ハーモニック伊藤財団に変更。同年、同敷地内にある槇文彦氏設計の 3 棟の建築群「TRIAD」とあわせ長野県から博物館法の登録を受ける。



- 開館時間：午前 10 時～午後 4 時・無休(臨時休館有)
- 交通：[電車]JR 大糸線穂高駅から「株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ穂高工場」を目的地に タクシーで 15 分 [車]長野自動車道安曇野インターより 20 分
- お問い合わせ：〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1 公益財団法人ハーモニック伊藤財団 TRIAD IIDA-KAN TEL 0263-83-6800(代) [https:// www.harmonicito-f.or.jp/](https://www.harmonicito-f.or.jp/)



公益財団法人 ハーモニック伊藤財団

TRIAD IIDA-KAN

AZUMINO ART LINE
安曇野アートライン
当美術館は安曇野アートラインに参加しています